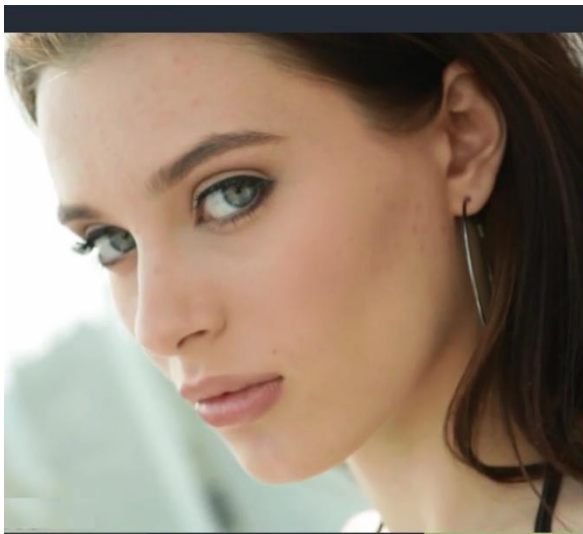


ラナ ポルノの女神

ネットの醍醐味のひとつは「ポルノ」だろう。というより、ネットのグローバルな性格がその醍醐味をもたらすわけで、当然ながら国内ではわいせつ物陳列罪とかで違法のものも、自由にやっている外国由来の絵を黙って見るだけなら違法にはならない。人権が国家を超えて適用される時代にあってこれはある意味不条理であり、近い未来には国際的な共通の法律をまとめねばならない方向性が決まったようなものなのだろうけれど、一向にその機運が見られないのは残念なことなのかどうか。

それで、ここでその違法なものを「見た」と告白するのは違法なのだろうか。国家の法で禁じられているものの存在を殊更に証明するようなもので、少なくとも決して勧められることではないと思う。ともか



く問題があれば掲示板にでもお知らせ願いたい。当方司法にたてつくつもりは更にはない。

言い訳はさておき、本題。

ネットの膨大なポルノサイトをすべてみたわけではないので、

当然ながら私見に過ぎないのだけれど、最近見て印象に残っ最

高のスターは「ラナ・ローデス Lana Rhoades」だ。何千人も居る美女
スターの中でも際立って才能のあるポルノスターだと思う。文句なし



の美貌で愛嬌もある。その裸体は美しくセクシーだ。

”最初のギャングバング” という一時間近い立ち回りの中で切れ目な



く強靱な男たち五人をいつときも飽かす事なくスピーディに動き回り魅せ続ける。あらゆるわざを駆使し、自分に出来ないことはなにも



ないという自信に満ちた態度で、しかも男たちの性急な行為と攻撃を



すべて受け入れ、快樂に轉換して自身のエネルギーに繰り込んでいく、



疲れを知らぬ不死身の女神。もちろん際限もなく繰り返される様々な
性行為そのものも奔放で気に入った見事なものだったけれど、





いちばん驚かされたのはそのはじめの部分、廃屋の中で邂逅した五人の男たちとの最初のボディトークだ。



一時間近い全く緩みのない、濃密な修羅場の中では1%にも満たない
わずか二十秒ほどのきわめて短いシーンだけど





このショー全体の雰囲気を感じさせる見事なプレリュードといえるものだった。

この世界、見事な美女は他にも数え切れないけれど、少なくともこのようなシーンを演じきる女優を私は他に見たことがない。きわめてユニークで蠱惑に満ちたラヴ・シーンだったことは疑いない。

男たちの欲情を食欲に飲み尽くし消化して美しくなり続ける、ラナこそが本当の意味での愛の女神なのだ。